

三野地区地域福祉活動計画（まるみプラン）ワークショップ 【R4.8.27】

参加者：実行委員 10 名 策定委員 9 名 中学生 5 名 外国人研修生 3 名 社協職員 5 名  
計 32 名参加

（報告：三豊市社会福祉協議会三野支所）

●「地域福祉活動計画（まるみプラン）」について

現在の計画・活動の振り返り

①ふるさと再発見ウォーキング、②ゴミ持ち帰り運動、③早寝早起き朝ごはんの啓発

（これからの予定）

今回（8/27）

次回（9/17）

三野町の気になるところ（課題）を抽出 → 課題から目標を立て、それに対する取り組み  
し、全体で絞る を検討する

●本日のワークショップ

初対面の方も多く、自己紹介を行いました。その際に、「この夏頑張ったこと」を一言ずつ話してもらいました。

ワークショップでは、普段生活をする中で感じているちょっとした困りごとや気になることについての意見をグループごとに出し会いました。町内在住で様々な立場で活動している策定委員や、中学生、外国人研修生からも、生活しにくい点など、意見を出していただきました。





各グループ、中学生が全体発表しました。皆さん、真剣に聴いてくれました。

●本日のまとめ（全グループからの主な意見取りまとめ）

- ・集いの場が少ない
- ・活動、行事が減り集まる場所が少なくなった
- ・世代を超えての交流が少ない . . .
- ・地域の人への挨拶が積極的にできていない
- ・地域の集いの場・交流の場がない

全てのグループから共通して課題として出されました。文化/伝統の継承（地域の行事やまつり、伝統芸能等）が途絶えてしまう。自治会や子ども会活動が希薄になっている。高齢男性の集まる場所が少ない、小学校区に1つこども食堂があればよい、等意見がありました。

- ・ボランティアできる活動がもっとあればよい . . .
- ・ボランティアにもっと参加しやすくなればよい

ボランティアに行く人が一部の限られた人になっていたり、中学生が参加できるボランティアが少ない。退職後も仕事をする人が増加し自由に動ける年代が減少。初めてでも参加しやすい雰囲気のある活動があれば、との意見がありました。若い人や親子（特に親世代）にボランティアの意識づくりが必要との意見がありました。

- ・高齢者の生活環境をもっとよくしたい . . .

核家族が増え、独居高齢者が増えている。交通手段がない人にとって（高齢者に限らず外国人なども）移動が不便である。困っている人を見つけにくい、との意見がありました。

- ・生活環境の整備ができていない . . .

路上にゴミが捨てられている、農道の草が処理されていない、水路に蓋が設置されておらず危険、犬のふんがそのままになっている等の意見が出ました。

